



事務局ニュース 〈10号〉 2017. 11. 22

寒くなりましたね。冬場はしっかり鍛える期間です。体調に気を付け取り組んでください。

2017年度日本水泳連盟基礎水泳指導員養成講習会

10月22日より基礎水泳指導員の養成講習会が日本ガイシアリーナで始まりました。各団体に所属する指導者の方をはじめ、マスターズで活躍中もしくは仕事が一段落された熟年の方も参加されています。5日間の学科・実技の講習を受講され、12月3日に検定試験が行われます。

(左写真：心肺蘇生 右写真：学科講義)



東海選手権水泳競技大会

11月12日(日) 静岡県立水泳場



愛知県選手団、選手86名・コーチ14名の99名で10連覇を懸けて臨みました。節目となる10回目の大会には、この東海選手権を創設された本連盟、松下博顧問も激励にお越しいただき、選手団にとっても心強くまた、より一層団結力を高めることができました。

各区分の選手が健闘し、結果は愛知県中学記録(4×100mフリー)の樹立を含む10連覇を飾ることができました。早朝より応援に駆けつけていただいた保護者、所属のコーチの皆様にも感謝申し上げます。ご声援ありがとうございました。(帯同コーチより)

第5回日本泳法講習会

11月19日 愛知県体育館地下プール

日本泳法委員会が設立して3年目、5回目の講習会を開催することができました。本連盟の会長、理事長をはじめ、大阪・枚方より「小池流」師範をお招きして盛大に行われました。また、小池流発祥ともいわれる三重県田丸町からも保存会会長様をはじめ子供たちの参加があり賑やかな講習会でした。

小池流の基本となる「平游正体」は、下記の写真のように顔を上げて泳ぐこと、足はかかとを付けること(蹲踞の形)が特徴です。初めての方も師範の指導を受け、熱心に取り組まれました。最後、講師の「扇持ちかもめ」の試技には大きな拍手が贈られました。

(委員長より)



〈参加者の皆さんと記念撮影〉

泳愛倶楽部 日本新V



東海地方中心とした水泳愛好者グループ「泳愛倶楽部」のメンバーが、日本マスターズ水泳長距離大会(愛知10/29)(東京11/4・5)に於いて日本新記録で部門優勝しました。これまでいくつもの記録を樹立してきましたが、今回初めて280歳区分(飯田63歳、堀内64歳、水野78歳、中島76歳)で、これまでの日本記録を3秒67更新する11分04秒06をマークしました。水野さんは定年後から健康のためにはじめ18年目で、中島さんは6年目で記録を出すことができ大喜びでした。9月の大会で1秒5足らずで涙を流したので、今回リベンジでの記録達成はひとしお価値があったと思います。

マスターズ水泳 4人計280歳以上800リレー

また、240歳区分(古屋・伊藤・飯田・堀内)のメドレー・フリーは全ての種目を日本新記録で制覇しており、日本最強のチームだと思えます。今後の水泳において、更なる目標を持ち、永く水泳人生が続けられるよう頑張ります。気軽に声をかけてください! (代表者より)

〈11月14日の中日新聞に掲載〉